

施策目標に関する中長期的な達成目標と指標(24年度実績評価用)

政策目標1 生涯学習社会の実現

施策目標(テーマ)	達成目標	主な成果指標(アウトカム)／活動指標(アウトプット)
5 ICTを活用した教育・学習の振興 【担当課(関係課)】 生涯学習政策局 参事官(国立教育政策研究所) 【施策の概要】 高度情報社会を担う人材を育成するための教育・学習を推進するとともに、ICT(情報通信技術)を効果的に活用した教育・学習の機会を充実する。	1. 教科指導における情報通信技術の効果的な活用や情報教育の充実により、わかりやすく深まる授業が実現するなど学校教育が充実するとともに、子どもたちの情報活用能力が向上する。	【成果指標(アウトカム)】 ① 子どもたちの情報活用能力の習得状況 (24年度新規事業により開発・実施する調査により測定) ② ICTを活用した教育の効果 【活動指標(アウトプット)】 ③ 実証研究「学びのイノベーション事業」の進捗状況(※23年度～新規事業) (目標:25年度 協議会からの指導・助言、評価等を受けながら、実証研究を着実に実施する。実証研究で使用するモデルコンテンツを開発する。) ④ 情報活用能力の実態に関する調査の実施 (目標:26年度 子どもたちの情報活用能力の実態を把握・分析し、その向上に資する指導方法の充実を図る。) 【参考指標】 ⑤ 授業中にICTを活用して指導する能力について、「わりに出来る」「ややできる」と回答した教員の割合 (23年度実績:65.1%/目標:29年度(調整中)) ⑥ 学校のICT環境の整備状況 ・教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数 (23年度実績:6.6人/目標:29年度(調整中)) ・電子黒板の整備状況 (23年度実績:73,377台/目標:29年度(調整中)) ・普通教室の校内LAN整備率 (23年度実績:83.6%/目標:29年度(調整中))
	2. 教育上価値が高く、学校教育又は社会教育に利用されることが適当と認められる教育用コンテンツが広く普及する。	【活動指標(アウトプット)】 ① 教育用コンテンツ審査の申請件数 (19年度実績:123件、目標:平成19年度比増)

達成手段

達成手段 (事業・税制措置・諸会議等)	23年度 当初予算 額(千円)	23年度 補正予算 額(千円)	24年度 当初予算 額(千円)	達成手段の概要	行政事業 レギュレー ション 番号	関連する 指標	担当課
学びのイノベーション事業	300,000	-	280,546	様々な学校種、子どもたちの発達段階、教科等を考慮して、一人一台の情報端末や電子黒板、無線LAN等が整備された環境において、デジタル教科書・教材を活用した教育の効果・影響の検証、指導方法の開発、モデルコンテンツの開発等を行う実証研究を実施する。 また、ICT活用に対する教員や教育行政職員等の理解の増進を図り、各学校におけるICT活用の取組を推進するため、教育の情報化の実態を明らかにするとともに、好事例を収集し、学校や教育委員会等と共有する。	0062	1-②~③	参事官 (学習情報政策担当)付
ICTを活用した生涯学習支援事業	50,113	-	-	ICTを活用した先導的な生涯学習支援に関する国内の実証的調査研究を行う。	0063	ICTを活用した教育・学習の振興	参事官 (学習情報政策担当)付
教育用コンテンツ奨励事業	27,037	-	24,183	教育上価値が高く、学校教育又は社会教育に利用されることが適当と認められる教育用コンテンツを選定するとともに、自作優秀コンテンツの表彰により、その普及・奨励を図る。	0064	2-①	参事官 (学習情報政策担当)付
教育研究情報センター	203,428	-	194,794	教育実践に関する指導案や教材、教育に関する調査研究等の収集・提供や、教育関係者等の知識と経験を共有する情報基盤となる教育情報共有ポータルサイトの構築・運用等を行う。	0078	1. 2	国立教育政策研究所
情報教育の推進等に関する調査研究	-	-	41,315	子どもたちの情報活用能力に関する調査の開発・実施を行い、子どもの情報活用能力の習得状況及び問題点に関する情報収集を行う。	24年度 新規事業 0003	1-①、④	参事官 (学習情報政策担当)付

〈修正のポイント〉
 各事業の実施状況をふまえ、目標値を修正した。
 ※旧達成目標2「ICTを活用して誰もが生涯を通じて必要なときにいつでもどこでも学べる環境を構築する。」については、関連する事業が平成23年度をもって終了した。